



釧公大だより

AURORA



令和5年度 学位記授与式 2024年(令和6年)3月22日

東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

CONTENTS

- 学長メッセージ……………2
- 学部長・附属図書館長メッセージ……………3
- 退職教員あいさつ・新任教員紹介……………4
- 大学年間スケジュール……………5
- 留学を終えて・大学ニュース……………6
- 学生のページ……………7
- 就職戦線最新情報……………8



学長就任にあたって

釧路公立大学学長 白川 欽哉

今春より、小路行彦前学長のあとを引き継ぎ、釧路公立大学の学長職を拝命いたしました。13年前に他大学から転任してきて以来、本学の素晴らしい研究環境や職場の同僚との協同は、私の研究・教育や各種委員会活動の支えとなってきました。それらへの恩返しのため任期を全うするつもりです。

さて、ここ数年、自然災害が猛威を振るい、感染症の蔓延は日常を一変させ、国際紛争は国民生活に負の影響を与えています。それらは教育の現場と無縁ではありません。本学でも実家が被災した学生への支援や、遠隔授業の導入、経済的に困難を抱える学生への生活支援などに取り組んできました。コロナ後の現在は、大学の法人化という大きな変化も相まって、さまざまな対応が要請されています。そうしたなか、私はつぎの3つの課題を投げ掛けたいと思います。

第一の課題は、学生に寄り添った支援を継続していくことです。新型コロナウイルスの拡大は、従来の人間関係を覆し兼ねない異常事態でしたが、昨年5月の「五類移行」宣言後は、再び教職員と学生たちが対面する機会が増えました。とはいえ、学生団体に目を向けると、前年からの引継ぎがうまくいかず、戸惑っている様子が多々見受けられました。一例をあげると、例年秋の大学祭を企画してきた実行委員会が、わずか数名で組織を運営しなければならない状況に陥っていました。その際、彼らをサポートしたのが大学事務局や展示や出店、発表の機会を待ち望んでいた部活やサークル、ゼミナールの学生たちでした。最終的に、実行委員は八面六臂の活躍をみせ、大学祭は恒例の花火大会とともに無事終了しました。

こうした支援の例にとどまらず、教職員と学生の良好な関係性にまつわるエピソードは自然発生的に家族や高校時代の恩師に伝わっているようです。「教職員と学生の距離の近さ」を単なる宣伝文句に終わらせないためにも、学生目線に立った教育と生活の支援を続けていきます。

第二の課題は、北海道及び道東地域の特色を活かした教育の推進です。ご承知の通り、釧路市は日本列島北部の東端地域に位置し広大な湿原を後背地とする港町です。釧路川以東から根室海峡にかけて広

がる根釧台地には日本有数の酪農地帯があります。主要産業は、酪農、漁業、林業、海運、観光などですが、釧路湿原国立公園や阿寒摩周国立公園に代表される豊かな自然と景観、そして冷涼な夏が道内外の人々の関心を惹きつけています。自然環境や地場産業、有形・無形の歴史遺産などは、全国各地の自治体が地域振興の核として活用を試みっていますが、本学の学生には釧路・道東を事例に地域振興について考える視点や視角を身に付け、また官公庁や企業の方々や地元民との交流などを通じて、地方の実態を肌で感じて欲しいと願っています。

第三の課題は、地域に関心を持つ学生に理論と実践の両面から教育する体制を整えることです。地方創生が謳われた1980年代末に釧路・道東の市町村が「一部事務組合方式」と呼ばれる地域主導の大学設立を成し遂げたことは、全国的にも注目を浴びました。いま釧路公立大学は、36年の歴史を通して全国各地から多くの若者が集まり、勉学と生活を共有する場となっています。昨年度の入学者でみると、地元北海道が全体の約六割で、四割弱が道外出身者です。道外では東北と関東の出身者が全体の四分の一を占めていますが、ここ数年は東海、近畿、九州・沖縄にも増加の兆しが見えます。この事実は、本学での学びと生活の満足度の向上が、釧路・道東の魅力を全国に発信する可能性につながることを示唆しています。潜在的魅力を発見するうえでも、多様なバックグラウンドを持つ若者が集う大学の存在意義は決して少なくありません。

なお、本学の学生が地域を学び、地域と結びつくためには、社会科学、人文科学、自然科学の総合知が必要です。またグローバルな視点からは、国際政治・経済の知識や、異文化への理解、語学力を身に付けることも重要です。さらに若者たちには、コロナ禍によって内向き志向になった心を開放し、家庭から地域社会へ、さらに国内から海外へと視野を広げることで、自分のなかに複眼的で多面的な鏡を作り上げてくれることを願っています。国境を越える資本や労働、情報の移動は、地方・地域経済とは無縁ではなくなっていることを認識し、次世代に対応した理論と実践の教育を構築していきたいです。

学部長メッセージ



学部長就任にあたって

釧路公立大学経済学部長 岩澤 哲

このたび自身2度目となる学部長職を拝命しました。思い返せば、前回の学部長任期（2020～2021年度）はコロナのパンデミックにみまわれた時期と重なります。就任直後から、大学における感染防止と教育活動の両立に手探りで取り組むことになりましたが、関係者の尽力のおかげで、何とか困難を乗り越えることができたように思います。

前回の任期中の大きな出来事としては、大学の設置形態が地方独立行政法人（公立大学法人）によるものへと変更（法人化）される方針が設置団体から示され、その移行に向けた準備が始まったことが挙げられます。その後2年に及ぶ準備期間を経て2023年4月に法人化が実現し、現在に至ります。法人化にともなって大学の組織運営の方式も改められ、教職員は少なからぬ変化の中に身を置くこととなりました。

法人化の目的の一つは、迅速で柔軟な意思決定のもとで組織を運営し、大学の教育研究等の質の向上を図ることにあると考えられます。法人化された環境で、釧路公立大学の魅力

をさらに高めていくことが期待されています。

さて、この4月の新入生から、学科ごとではなく学部全体で入学者選抜を行い、入学して1年後に所属学科を決めるという、新たな仕組みが導入されました。これに合わせて経済学部のカリキュラムもリニューアルし、経済学科に経済コースと地域社会コースが、経営学科に経営コースがそれぞれ設けられました（2学科3コース）。また、全学年に必修のゼミナール（4年生は卒業研究）を配置し、少人数教育を一層強化しました。新入生向けの「初年次ゼミナール」では、学生が地域に出て学ぶメニューも新たに準備されています。このほか教養科目や外国語科目の拡充も進められ、カリキュラム全体として、学生の興味や進路に合わせた多彩な学びの機会を提供しています。

学生の皆さんには、本学の内容豊かなカリキュラムのもとで存分に学び、地域や社会の諸課題に向き合う力を養ってもらいたいと思います。

附属図書館長メッセージ



附属図書館長就任にあたって

釧路公立大学附属図書館長 秋山 修一

このたび、4月1日付けをもちまして附属図書館長を拝命いたしました。附属図書館長は、もとより図書館業務の責任者ですが、学務においては学長、学部長を補佐する役割を担う重責でもあるため、大変身の引き締まる思いです。

世界中で猛威を振った新型コロナウイルス感染症は、経済社会全体に大きな影響を及ぼすなかで、大学を取り巻く環境も大きく変化しました。かつては、授業といえば、決められた時間に大学内の決められた教室で「対面」で実施するもの、試験と言えば、教科書や参考書などを持ち込めない状況で記憶を頼りに紙の答案用紙にボールペンや鉛筆で「筆記」するもの、図書館といえば、製本された「紙」文書を収集・保存して大学生をはじめとする一般公衆が利用（閲覧・貸借）する施設でした。これに対して、「オンライン（遠隔）」授業や、「LMS（学習管理システム）」、「電子文書」などのデジタルツールは、導入自体は以前からされていたものの、コロナ禍における感染拡大防止を目的として一気に普及しました。

現在、感染拡大は収束しつつありますが、これらのデジタルツールの利活用は、時間や場所（空間）の制約を解き放つものとして、今後ますます重要性を増していくことは明らかであり、図書館をはじめ大学全体のDX推進は喫緊の課題となっております。教育現場におけるDX推進が遅れていることは周知の事実であり、それは本学においても同様ですが、これまで手法や経験、成功事例にとらわれることなく、「常識を疑う」という姿勢で、現場の意識を変えることがなにより肝要だと考えております。

さらに、本学においては、新年度から1学部2学科3コース制に授業カリキュラムが改訂されます。関連する各種制度の整備や検討に加えて、こうした大きな改変の際には、必ずと言ってよいほど想定外のトラブルが発生するものであり、今後起こりうる様々な課題に対して、白川新学長が示す方針のもと、実務を担う岩澤新学部長をしっかりと支えてまいりたいと考えております。

退職教員あいさつ



退職を迎えて

学長・教授 小路 行彦

33歳で赴任し、69歳で退職を迎えるまでの36年間もの長い年月を釧路公立大学にお世話になりました。感謝以外に言葉がありません。

赴任した頃の大学周辺は、芦野5丁目がまだ砂地が広がる空き地でした。当時愛国西に住んでおり、風が強い日は口に砂が入ってきて大学まで来るのが大変でした。文苑はまだ湿原で、よくそこからキタキツネが来たものでした。暫くして、芦野には家が建ち、愛国から大学まで、家とお店につながる現在の姿になりました。文苑が造成されたのは、大学に経営学科が出来た開学から8年後頃で、大学の前にスーパーや金融機関、ビデオ・古書店、飲食店ができて、便利な町に変貌しました。

独身時代は、夜の10時近くまで大学に残って研究をしていましたので、夜の食事は大学の食堂でした。今年度一緒

に退職する金子先生と、夕日を見ながらよく食べたものです。金子先生のお誘いで、食事を早く食べ終えて、湿原に沈む夕日を見に、細岡の湿原展望台まで何度か出かけたことがありました。大学院の20代は、研究に明け暮れたというより、研究テーマの設定にもがいた時代でしたから、就職が決まって精神的に安定したこの時期は、結婚までの束の間の第二の青春時代で、今となっては懐かしく、思い出深い時代です。

長くかかりましたが、研究もまとめ上げ、出版することが出来たのは、大学の恵まれた研究環境にあります。当然、古い図書、資料はないわけですが、図書購入費が潤沢で、調査のための出張にも不便を感じることはありませんでした。この時期、国立大学は喧噪の中にあっただけですが、本学はそうしたこともなく、落ち着いた環境で研究に打ち込めたのは幸いでした。

最後の4年間は、学長職を勤めさせて頂きました。大学の伝統をどう作っていくか、模索した4年間でした。少子化はこれからも急速に進み、大学淘汰の時代に入っていくなかで、その地位を確保するためには、しっかりした理念に裏付けられた教育が必要でしょう。大学関係者の皆様の健闘を祈念して、お別れの言葉に代えさせて頂きます。



釧路公立大学での28年間

教授 宮下 弘美

学生の皆様、卒業おめでとうございます。希望に満ち溢れて入学されたことと思いますが、4年間の学生生活はいかがだったでしょうか。

私は経営学科が開設されたときに、経営史・日本経済史などの担当教員として赴任しました。当時は、スマートフォンもパソコンもなく、学生との連絡は固定電話でしたし、皆さんの勉強スタイルも講義ノートを取り、コピー機を使うようなものでした。なにもかもが素朴な時代だったように思いますが、電子機器が発達した今でも、大学での勉強の基本は、さまざまな文献や情報源から必要な情報を集め、自分の頭の中でよく考えることにあります。スマートフォンの決済やライン交換など、日常生活でほとんどのやりとりが数秒で済んでしまうと、考えることがおっくうに感じられるかもしれませんが、よく読んで、よく考えて

いると結論が見えたり、新しい発見があるものです。

大学教員には、特別の資格試験などは必要ありませんが、大学院生の時に研究史を探り、なにか新しい結論を導き出す経験を積みます。理系であれば実験は必須でしょう。よく言われるように、社会科学は実験ができないので、文献や資料こそが知識の源になります。私自身は、明治期の北海道炭礦汽船株式会社の経営分析が修士論文のテーマでした。それまでの研究史では、もと薩摩藩の官僚たちが(黒田清隆総理や開拓使、北海道庁の役人等)、幌内鉄道・炭鉱の払下げ(民営化)を目的に、新たに室蘭までの鉄道を敷設したといわれていましたが、実は、室蘭までの鉄道を敷設することにこそ、日本を縦貫する鉄道網を作ろうとする明治政府の重要な政策があり、払下げはむしろ付随的なものであったことがわかりました。北海道開拓は、国策として非常に重要なものでした。

昭和の時代に、全国的にはりめぐらされていた鉄道の廃線が続き、日本を代表する産業だった炭鉱の閉山も進みました。なぜ、このようなことが起きたのか、ぜひ考えていただきたいテーマです。2050年に釧路市の人口が10万人を下回ると言われていますが、釧路市には食料もエネルギーもバルク港もあります。大学と釧路市の発展に期待いたします。

新任教員紹介

あんどろ
安藤

かなと
奏音

「自然保護学」、「自然地理学」、「環境科学概論」、「環境地理学」

ふくとみ
福富

たかし
隆志

「心理学」、「認知科学」、「教育心理学(教)」、「教育相談(教)」

いじま
飯島

なおき
直樹

「日本史」、「日本近代史」、「北海道の歴史」



36年間を振り返って

教授 **金子 康朗**

昔の文学部の大学院生は「霞を食らう」のを地で行くような人たちが多く今思えば私もその一人でした。心理学の必修単位を取り終わった後は、韓国語を門脇誠一先生から教わり、ラテン語を池田先生から教わり、ギリシア語を安西真先生から教わり、言語学の研究室へ通っては池上二郎先生から言語類型論を教わり、切替英雄先生からエスペラント語を教わり、言語文化部へ通っては上田雅信先生から生成文法を教わり、工藤正広先生からポーランド語を教わったりなど、特に将来を考えない生活を送っていたものです。

そうこうするうちに、大学1年生の時に心理学を教わった釧路出身の岩本隆茂先生から本学創設のお話を伺い手取り足取りご指導を頂いて、面接で栗山久策先生にお目にかかったりしながら、何とか就職いたしました。専任の教職課程の仕事は高山武志先生からみっちり教わり、その

後の長名洋次先生からも教わり助けられました。その間、環境面では、インターネットが整備されて便利になり、附属図書館が増築されて利用しやすくなり、大学生協が設立されて過ごしやすくなりました。

教職課程の仕事と並行して、きっかけは忘れましたが鷹田和喜三先生や荒又重雄先生から教わりながら国際交流の仕事も担当するようになり、キャピラノ大学とサイモン・フレーザー大学を訪問する機会も頂きました。また、韓国・牧園大学の崔敬愛先生から姉妹校提携のご提案を頂き2000年4月から学生交換を始めることができました。思い返してみますと、1986年に門脇誠一先生から外務省の日韓学生交流計画に参加する機会を頂いて韓国を訪問し、1997年にコーネル大学で開催されたアメリカ言語学会主催のSummer Instituteに参加して崔敬愛先生と知り合いになったのですから、「霞を食らう」ような生活の中で学んだ韓国語や言語学が縁となって姉妹校提携に繋がっているようです。

それはさておき、開学から36年間経ち、この度、定年退職を迎えました。教職課程や交換留学に積極的に参加して伝統を築いて行ってくれた学生・留学生・卒業生に感謝するとともに、様々な視点から教職課程と国際交流を支えてくれた、学内関係者をはじめ、教育関係者、学校関係者の皆様、そして地域の皆様に感謝申し上げます。



釧路公立大学での14年間を振り返って

准教授 **松浦 愛子**

この度、長らく勤めさせていただいた釧路公立大学を退職することとなりました。14年間に渡り、英語教育に携わることができ、多くの学生やご協力いただいた皆様のご縁に感謝しております。2010年度に新任教員として赴任し、14年間釧路公立大学で英語を教えて参りました。この度、地元の愛知県名古屋市の他大学に移ることになりましたので、これまでお世話になりました皆様方にお礼のご挨拶を申し上げます。

公立大学での教育活動は、私にとって貴重な経験であり、学生の成長や学問の楽しさを共に感じることができました。特に、カナダの協定校との交流や、厳しい自然に囲まれた釧路での生活は、私の人生に大きな影響を与えてくれました。

公立大学では、1、2年生の教養の英語を主に担当しました。真面目で、素直な学生が多く、学力が伸びる素質がある学生が多いと感じました。1年生向けの担当授業では、基礎的な英文法を教えました。コロナ禍でIT革命が進み、AIの登場で語学学習はますます進化充実し、学ぶ

意欲と基礎的な英語の知識を身につければ、場所に関係なく語学能力を伸ばすことが可能になっています。公立大生でも、自助努力でTOEICの点数を伸ばし、800点を超える学生もいました。

また、公立大学では、カナダの協定校との国際交流に積極的に関わることができました。提携校キャピラノ大学から招聘教員が毎年来釧路する協定に則って行われるカナダ人の教員受け入れは、両国側の関係者の尽力と熱意に支えられていました。

最後になりますが、市町村が事務組合を組織して作った公立大学という伝統に一時でも参加する機会を得たことを大変光栄に思います。独立行政法人化し、運営形態が変わっても、釧路の苛烈な自然の中に知識の拠点としての大学を築いた先人たちの先進的な精神が受け継がれ、益々発展していくことを望みます。釧路という土地には、まだ開発されていない可能性があります。特に、印象に残ったのは釧路の厳しく美しい自然です。マイナス14度の日が1週間続くこともある冬は大変厳しいのですが、同時に、心打たれる美しい自然が身近にありました。晴れた風の強い日に自宅の上を舞うトビ、大学構内のキタキツネや立派な角の牡鹿、厳冬の阿寒湖の氷上の花火、新緑に映えるタンポポの鮮やかな黄、夏の森林公園のオオルリやクマゲラ。そして、そのような大自然の中で、知識の継承と生産を担い続ける公立大学の営みは、改めて貴重であると感じます。

これからも、学生や教育に携わる皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げます。

2024年度(令和6年度)年間スケジュール

4月1日……学年始め	9月25日……後期授業開始	1月29日……後期定期試験(2/6迄)
8日……入学式	10月18日……大学祭(KPUフェスタ)	3月3日……卒業生発表
9日……オリエンテーション	(10/20迄)	8日……令和7年度一般選抜試験
12日……前期授業開始	11月21日……令和7年度特別選抜試験	15日……春期休業開始
6月25日……開学記念日	12月24日……冬期休業開始(1/8迄)	23日……学位記授与式
7月31日……前期定期試験(8/7迄)	令和7年	31日……後期終了
8月8日……夏期休業開始(9/22迄)	1月9日……授業開始	

留学を終えて



カナダ・キャピラノ大学派遣

経営学科4年 井上 美優

留学の成果として、自発的なコミュニケーションをとることで継続的な交友関係を築くことが出来ました。特にクラスメイトと初めて対面した時は何も共通の話題が見つからず苦戦しましたが、

国籍が互いに違うからこそ相手の国の文化やカナダでの生活についての印象を尋ねたり、互いに感じたカルチャーショックを共有したりと、文化や価値観を共有し互いに理解することで交友関係を築くことが出来ました。この経験を活かして、大学生活や英語学習を自発的に取り組み、様々な挑戦をしていきたいです。



カナダ・キャピラノ大学派遣

経営学科3年 井上 瑞樹

移民の国カナダでは、様々なルーツを持つ人々が暮らしておりお互いの文化について話したり、社会問題について話す機会がたくさんありました。特に印象的だったのはウクライナ人のクラス

メイトが、自国で起こっている戦争について話してくれたことでした。その事実を体験談として語る姿は悲しく、戦争の悲惨さを改めて実感しました。これからは、この経験を生かして、自分の生活が平和で安定していることへの感謝を忘れず、世界で起こっている社会問題への理解を広めたいです。



カナダ・キャピラノ大学派遣

経済学科3年 田中 麻捺

以前から留学に興味があった私にとって、カナダにいた4ヶ月間はとても有意義な時間でした。最初は聞き取ることも話すこともままならず、苦労したことを覚えています。少しずつ会話ができ

ようになったのは、支えてくれたクラスメイトやホストマザーのおかげです。

クラスメイトと交流するうちに、一人一人がそれぞれ夢を持って努力していることを知り、自分も頑張ろうと、良い刺激をもらいました。

貴重な経験ができたことに感謝し、今後も頑張っていきたいです。



韓国・牧園大学派遣

経済学科4年 養田 実咲

半年間という短い間でしたが、国籍を超えて多くの人達と関わり充実した留学期間を過ごすことができました。牧園大学がキリスト教の価値観を大切にしている大学でもあるので、実際に教会に

お邪魔して日本ではあまり見ることがない礼拝の様子を見学させてもらいました。その後現地の方々と一緒にご飯を食べて、いろいろな場所を案内してもらい、素敵な経験をたくさんさせて頂きました。今でも韓国で関わった人達と連絡を取りあっており、大切な友人を作ることができたと感じています。



韓国・牧園大学派遣

経済学科3年 齋藤 耕一郎

留学をすることには不安がありましたが、現地については韓国の文化やルールに適応することができとても充実したものになりました。留学は1人だけで語学の上達を目指して行うのではな

く、他の国からの留学生や韓国の学生や先生、そして新たな人と出会い交流してこそより良い留学生活を送れると思います。私は1年間の留学だったのですが留学期間が終わる直前にはまだ帰りたくない、もっと留学をしたいと思えるほどかけがえのない経験になりました。

大学ニュース

— 2023年度を振り返って —

●4月1日(土) 交換留学生来日

韓国の牧園大学より卓 英福(タク ヨンボク)さん、金 茶喜(キム ダヒ)さんが本学の交換留学生として来日した。

●4月7日(金) 第36期生入学

午前11時より本学36期生の入学式が挙行され、315名(男241名、女74名)が晴れて入学した。

●8月5日(土) オープンキャンパス

本学の関心を高めてもらうためオープンキャンパスを開催。今年で27回目となり、298名の参加者は熱心に話を聞いていた。

●10月21日(土)・22日(日) KPUフェスタ(大学祭)

3年ぶりに一般開放が復活。様々なイベントが催され、盛況なものとなった。

●11月22日(水) 令和6年度特別選抜試験

全国より71名の志願者があり、その結果70名が合格した。

●令和6年度一般入試(前期日程)

大学入学共通テストをもって選考。652名の志願者があり、3月5日(火)に合格発表が行われた。

●3月8日(金) 令和6年度一般入試(中期日程)

釧路・札幌・盛岡・東京・大阪の5会場にて実施。875名の志願者があり、3月21日(木)に合格発表が行われた。

●3月22日(金) 令和5年度学位記授与式

第33期の卒業生300名が公立大生として堂々と学位記の授与を受け、さらに成績優秀な5名が特別表彰された。式の終了後、卒業生は学友と記念撮影などをし、別れを惜しみながら巣立っていった。

入|学|お|め|で|と|う

体 育 会

体育会会長

経営学科3年 山本 来紀



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高校を卒業したばかりで釧路という地に初めて一人暮らしをする人も多く、これからの大学生活を不安に思っている人も多いと思います。私が今まで大学生活を送ってきて1番思うことは自由な時間が沢山あるということです。どの時間のどの講義を受けるのかなど、大学ではほとんどを自分で決めることができるので自分なりに時間を作ることが出来ます。なのでぜひその自由な時間で今までできなかった、してこなかったことにチャレンジして欲しいと思っています。

また、大学には勉強以外にも色々なサークルや部活動があります。まだ大学について分からない新入生にとっては、サークルや部活動でのコミュニティがあることによってより充実した大学生活が送れると思うので、積極的に参加してみてください。

最後に、せっかくの大学生活なので全力で勉強し、全力で楽しんでください。皆さんが素敵な大学生活を送れるよう心から応援しています。

文 化 部 会

文化部会会長

経済学科3年 前川 莉穂



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活にどんな期待を抱いていますでしょうか。

皆さん、頑張りたいことがそれぞれあると思います。その中で、大学生活をどういったものにするのかは自分次第です。大学では「自由」が増えます。無限に存在する可能性を皆さんが選択していくこととなります。ですが、言い換えれば、その可能性を自ら掴みにいかなければなりません。一歩目を踏み出す勇気が持てないと何も始まらないのです。充実した時間を作り上げていくのは自分自身です。だからこそ、大学生しかできないことをたくさん経験してほしいです。

「迷ったら、一回やってみる」この気持ちをもってほしいと思います。そして大学生活を振り返ったときに、「後悔のない4年間だった」と胸を張っていえるようにたくさんのことに挑戦してほしいと思います。

最後になりますが、この大学生活が充実したものとなることを心から願っております。

卒|業|生|か|ら|の|メ|ッ|セ|ー|ジ

卒業にあたって

経済学科 石橋 もえり



この大学で過ごした4年間は本当にあっという間でした。2020年のコロナウイルスが流行し始めた年に入学した私たちの大学生活は、入学式がなく、殆どの講義は非対面での講義であるなど、様々な制限のもと始まりました。私も含め、多くの学生が、もどかしさを感じ、悩みを抱えていたのではないかと思います。それでもこの4年間の中で、学んだこと、出会った人はかけがえないものになっていきました。この4年間での学びや出会いを、私自身も大切にしていきたいと思えますし、新入生の皆さん、在校生の皆さんにも大切にしてほしいと思います。

4年間、特に行動もせず何となく過ごすこともできますと思います。しかし、4年あれば自分自身の行動次第で大きく成長すること、何かを成し遂げることもできると思います。終わってから気付くことは沢山あり、私も「もっと勉強しておけばよかった」「もっと時間を大切にしたらよかった」と卒業する今思います。新入生の皆さん、在校生の皆さんの大学生活が、意味のある充実したものに、後悔のないものになりますよう心より願っております。

4年間支えてくださった全ての方々に感謝し、この大学生活を糧にこれからも成長し続けられるよう努力していきたいと思えます。4年間ありがとうございました。

新入生へのお祝いメッセージ

経済学科 佐々木 優祐



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。受験が終わり、新たな友人との出会いへの期待、新天地での生活や親元を離れる不安を抱えているかと思います。皆さんが抱えている期待や不安は、自分自身の行動・挑戦により達成・解消することができると思います。

私が釧路公立大学で過ごした学生生活は、サークル活動、ゼミにおける研究、友人との交流、アルバイトなど多方面にわたり、自分から行動することで実り多い生活を送ることができました。そのため、新入生の皆さんにも、自分の関心や興味のある学問、スポーツ、趣味に挑戦してみることをおすすめします。挑戦を通じた、信頼における友人との出会い、自分の進路の方向性の確立など得られるものは大変貴重なものばかりです。限られた時間ではありますが、皆さんが釧路公立大学でよかったと思える生活を過ごしてほしいです。

最後になりますが、皆さんの大学生活が有意義かつ実りある4年間になりますよう、心より願っています。

就 職 戦 線 最 新 情 報

卒業予定者の内定先リスト (現在の内定状況) 2024/03/22

- 農業漁業** 伊藤デイリー
- 建設業** 一条工務店、カワムラ、木下工務店、クラシタス、クロスティホールディングス、双豊電気、第一カッター興業、東建コーポレーション、ネクスコ・メンテナンス新潟、北海道電気工事、ミサワホーム北海道、宮坂建設工業、UTコンストラクション、ログスホーム
- 製造業** 阿部長商店、因幡電機産業、ケイシイシイ、JA全農ラドファ、総合商研、高木酒造、タカラスタンダード、帯人、デリア食品、東光薬品工業、トンボ、マリンフーズ、もりもと、よつ葉乳業
- 卸売・小売業(卸売業)** 英和、エプソン販売、釧路ヤクルト販売、国内北海道、杉山商会、田中商事、千代田テクノ、バックロジ、PAL TAC、東日本フード、日の丸産業社、北海道イシダ、北海道ジェイ・アール商事、ムトウ、モロオ、山田機械工業、LIXILトータルサービス
- 卸売・小売業(小売業)** アインホールディングス、あさひ、イイダ電気、イオン東北、イオン北海道、IDOM、オカモトグループ、カインズ、釧路トヨタ自動車、コクヨ北海道販売、スズキ自販新潟、セコマ、相馬商事、ツルハホールディングス、DCMニコット、徳永薬局、TREZION、ニトリ、日本ニューホランド、ネットヨタ苫小牧、ピシヨップ、福原、北海道スバル、ホンダカーズ北千葉、ホンダ四輪販売北海道、リコージャパン
- 金融・保険業** あいおいニッセイ同和損害保険、岩手県信用農業協同組合連合会、帯広信用金庫、共栄火災海上保険、釧路信用組合、釧路信用金庫、気仙沼信用金庫、損害保険ジャパン、大地みらい信用金庫、東京海上日動火災保険、東北銀行、苫小牧信用金庫、ニッテレ債権回収、日本銀行、日本政策金融公庫、日本生命保険、北洋銀行、北海道銀行、北海道信用金庫、北海道信用農業協同組合連合会、北海道信用保証協会、明治安田生命保険、盛岡信用金庫、山梨中央銀行、稚内信用金庫
- 運輸・情報通信** アーク引越センター、アイエックス・ナレッジ、アイビーシー岩手放送、アクセスチュア、AKKODISコンサルティング、アルテニカ、アンリミテッド、エイチ・アイ・ディ、エイチ・シー・シー、SOC、NECソリューションイノベータ、NTTデータビジネスシステムズ、キーマネジメントソリューションズ、クリエイション、栗林商会、サンリツ、シイエヌエス、ジャパンテクニカルソフトウェア、センコー、全日本空輸、ソフトウェア札幌、苫小牧埠頭、日本通運、日本郵便北海道支社、日本アイ・ピー・エムデジタルサービス、日本システムコンサルタント、ニューメディア、パーソルプロセス&テクノロジー、ハイマックス、福島民友新聞社、プライムシステムデザイン、フラワーヒルズ、北銀ソフトウェア、堀通信、ミツ輪運輸、ヤマト運輸、リンクス、ロジネットジャパン
- 電力・ガス** エネサンス北海道、釧路ガス、日本原燃
- 不動産業** 石川商事、IDOM CaaS Technology、インテリックス、共立メンテナンス、三光不動産、大東建託パートナーズ、日本住宅
- サービス** 青森総合警備保障、あずさ監査法人、雨夜卓球スクール、ALSOK岩手、医師のとも、インサイド・アウト、Evand、ANA新千歳空港、帯広市川西農業協同組合、きたみらい農業協同組合、クラブツーリズム、クレドインターナショナル、国立病院機構、サーキュレーション、札幌中央会計、新和、セリオ、Zenken、全国農業協同組合

- 連合会岩手県本部、SocioFuture、タウンライフ、武久、DBS、東武トップツアーズ、ネオキャリア、函館厚生院函館五稜郭病院、比布町農業協同組合、ヒューマンリソシア、ふらの農業協同組合、ホクレン農業協同組合連合会、星野リゾート・トマム、北海道漁業協同組合連合会、北海道農業共済組合、マイナビ、マーキュリー、マジオネット多摩、三ツ和、Mirai Resort、芽室町農業協同組合、メンバーズ、友朋会、吉岡経営センター、れんせい、労働者健康安全機構釧路労災病院
- 国家公務** 警視庁、国税庁(国税専門官)、国税庁(札幌国税局)、国土交通省(国土地理院)
- 地方公務** 旭川市消防、足寄町役場、一関市役所、浦幌町役場、岡山市役所、帯広市役所、釧路市役所、札幌市役所、札幌市役所(消防)、士幌町役場、斜里町役場、千歳市役所、中札内村役場、八戸市役所、北海道警察、北海道庁(警察行政)、三笠市役所、村山市役所、蘭越町役場
- 教員** 東京都教員(中学)
- 進学** 学習院大学法科大学院

令和5年度卒業予定者の就職状況 2024/03/22現在

1. 求人件数及び内定状況

区分	求人件数	卒業(予定)数	就職希望者	内定者数	内定率(%)	未定者数
男子	—	232	219	208	95.0	11
女子	—	72	69	62	89.9	7
共用	609	—	—	—	—	—
合計	609	304	288	270	93.8	18

2. 進路別内定状況

進路	男子	女子	計	割合
民間	172	55	227	84.1
公務員	36	6	42	15.6
教員	—	1	1	0.4
自営	—	0	0	0.0
計	208	62	270	100.0
進学	1	—	1	—
無業	12	3	15	—
未定	11	7	18	—
合計	232	72	304	—

3. 産業別地域別内定状況

業種	釧路管内		北海道内		北海道外		計		合計	割合
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
製造	2	1	10	6	14	3	26	10	36	13.3
卸売・小売	2	1	16	6	16	6	34	13	47	17.4
金融・保険	3	1	16	9	8	3	27	13	40	14.8
運輸・情報	4	1	10	2	26	2	40	5	45	16.7
電力・ガス	1	—	1	—	1	—	3	0	3	1.1
サービス	3	—	17	4	22	11	42	15	57	21.1
公務	9	2	20	3	7	1	36	6	42	15.6
計	24	6	90	30	94	26	208	62	270	100.0
合計	30		120		120		270			
割合	11.1%		44.4%		44.4%		100.0%			

◎令和6年度前期授業料の納付について

前期授業料は4月30日までに納めてください。ATMや金融機関での口座振込又は金融機関窓口にて同封の「振込依頼書」よりお振込みください。授業料の分割納入や減免を希望される場合は、受付期間内に申請フォームから申請してください。

編集後記

新年早々に能登半島で地震がありました。もし自分の身に同じような地震があったら、ちゃんと逃げることができるだろうかと改めて考える機会になりました。皆さん、何かしらの備蓄はしてあるでしょうか。いざとなったら避難する構えはあるでしょうか。つい最近、自宅の上の住居から水漏れがありました。最初に発見したとき、トイレの天井から漏れ出る水滴をただ眺めているだけでした。水漏れですら初動の対応が難しいのに地震が起ったら大丈夫なのか。わたしも気持ちはまだ十分に構えられていないようです。(舟)

釧路公立大学だより 第69号

2024年(令和6年)4月1日発行

◎発行元

釧路公立大学

〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号

TEL 0154-37-3211

FAX 0154-37-3287

学生課：TEL 0154-37-5091

URL・<https://www.kushiro-pu.ac.jp/>

◎発行日

毎年2回(4月1日、10月1日)

◎表紙題字/高嶋初代学長筆*あうろーら(AURORA):ギリシャ神話の曙の女神エオスのローマ名